

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 21 日現在

機関番号：34420

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2012～2015

課題番号：24520818

研究課題名(和文) 清末民国初期の中国の教育雑誌から見た日本近代教育の中国への影響

研究課題名(英文) The Impact of Japanese Modern Education on China: An Analysis of Education Journals in Modern China

研究代表者

呂 順長 (lu, shunchang)

四天王寺大学・人文社会学部・教授

研究者番号：40388591

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 4,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、まず海外の研究協力者の協力を得ながら中国清末民国初期の教育雑誌中の日本教育関係記事を調査・収集し、資料の目録と雑誌ごとの解題を作成した。そのうえ、清末民国初期における日中教育交流の実態をいっそう究明するため、研究メンバーが各自関心を持つテーマについて、収集済みの資料を活用し、たとえば、日本の教育記事は中国初の教育雑誌『教育世界』においてはどのように紹介されたか、地方の教育雑誌『浙江教育官報』にはどのような記事があり、またどのような形でその地方の教育に影響を及ぼしたかなど、実証的な研究により明らかにした。

研究成果の概要(英文)：With the generous assistance of overseas researchers in the collection, analysis and categorization of relevant primary data in education journals published in modern China, this study answers a need for understanding the full picture of Sino-Japanese education exchange during this period. The academic expertise of each researcher in this study spurred new discovery by exploring these primary data in his/her academic field. For example, how did Education World (教育世界) in Shanghai and the provincial Zhejiang Education Gazette (浙江教育官報) introduce Japanese education? How did these journals impact China's education in different regions? With quotations of supporting data from education journals in modern China, these issues are crystalized.

研究分野：東洋史

キーワード：教育雑誌 国際研究者交流 国際情報交流 中国 日中交流 史料調査

1. 研究開始当初の背景

清末民国初期における日中教育交流の最大の特徴は、中国が留学生の派遣、日本人教習の招聘、教育視察者の派遣、日本書の翻訳などを通じて日本に学び、中国の近代教育の構築を図ったことにあると言える。

清末民国初期の教育雑誌の日本教育関連記事は近代における日中教育交流、特に日本の中国教育近代化に与えた影響の実態を解明するうえ、非常に大事な第一次資料であるにも関わらず、これまでにそれに対して全面的に調査されたことがなく、その利用は必ずしも十分とは言えない。

2. 研究の目的

本研究は、同時期の中国各地の教育雑誌に掲載された日中の教育交流や日本の教育事情などに関する記事を調査・収集し、その資料に基づき、近代において日本がどのように中国教育近代化に影響をもたらしたかなど、清末民国初期の日中教育交流の実態をさらに実証的に解明しようとするものである。

3. 研究の方法

(1) 清末民国初期の教育雑誌中の日本教育関係記事の調査・収集：海外研究協力者の協力を得ながら、約1年半の時間をかけて中国の主要図書館から各教育雑誌中の日本教育関係記事を調査・収集する。

(2) 資料目録と解題の作成：収集済みの資料の目録を作り、さらに雑誌ごとに解題を作成する。題名は「雑誌に見る日本教育関係記事の解題」とする。

(3) 清末における日中教育交流実態の更なる究明：清末における日中教育交流につ

いて数多くの研究成果が上がっているが、同時期の中国の教育雑誌の関連記事の利用がまだまだ不十分な状態にある。研究メンバーが各自の関心に基づき、収集済みの資料を活用して研究を行う。たとえば、日本の近代教育はどのような形と規模で中国の各地方の教育に影響を及ぼしたか、各地域の差がどのような形で現れたかなどを実証的な研究により明らかにする。

(4) 中華民国初期における日中教育交流実態の究明：清末における中国の教育改革は「日本モデル」で行われたが、民国時代以降、中国人は欧米諸国に目を向けはじめ、その関心が少しずつ日本から離れたとされている。本研究の一部として民国初期に日本が中国の近代教育に影響を与え続けた事例に基づき、その影響の実態を明らかにする。

4. 研究成果

(1) 以下の教育関連の雑誌に掲載された日本教育関係の記事を調査・収集した。『教育世界』(1901年、上海・教育世界社)、『四川学報』(1905年、成都・四川学務処)、『学部官報』(1906年、北京・学部図書館)、『官報』(1906年、東京・遊学生監督処)、『河南教育官報』(1907年、開封・河南学務公所)、『四川教育官報』(1907年、成都・四川学務公所)、『雲南教育官報』(1907年、昆明・雲南学務公所)、『湖南教育官報』(1908年、長沙・湖南学務公所)、『吉林教育官報』(1908年、吉林・吉林学務公所)、『浙江教育官報』(1908年、杭州・浙江学務公所)、『福建教育官報』(1908年、福州・福建提学使署)、『教育雑誌』(1909年、上海・商務印書館)、『甘肅教育官報』(1909年、蘭州・蘭州官報書局)

『貴州教育官報』(1909年、貴陽・貴州学務公所)、『湖北教育官報』(1910年、漢口・湖北提学使司)、『広東教育官報』(1910年、広州・広東学務公所)、『湖南教育雑誌』(1912年、長沙・湖南教育総会)、『教育週報』(1913年、杭州・浙江教育会)。

(2) 収集された記事の目録を作成し、さらに一部の雑誌の解題を作成した。

(3) 商務印書館刊行の『教育雑誌』(1909 - 1948) に掲載された日本教育関連の記事を、1909 - 1911年の3年分のものに限定して文芸欄の教育小説、論文などの翻訳作品、記事欄の日本教育情報、広告欄にみる日本書籍目録などの内容を明らかにした。

(4) 日本の教育記事は中国初の教育雑誌『教育世界』においてはどのように紹介されたか、地方の教育雑誌『浙江教育官報』にはどのような記事があり、またどのような形でその地方の教育に影響を及ぼしたかなど、実証的な研究により明らかにした。

(5) 吳汝綸日本視察の背景を紹介したうえで、吳汝綸と井上哲次郎・林正躬・長尾楨太郎・研経会との筆談の内容を分析し、近代教育制度の導入を急務とした時代の中国の教育関係者が教育視察を通じて日本人の識者にどのような助言を求めたかその一端を明らかにした。

(6) 中国が近代の学校教育制度を制定する過程において、日本の近代学制を大いに参考にしたことはよく知られているが、楊暁の論文「清末中国学制改革の文化価値の趣向」では日本から受けた影響の主な内容を明らかにされた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計4件)

楊暁「清末中国学制改革の文化価値取向」、四川師範大学学报、査読有り、第40巻第2期、2013年3月、第58 - 62頁。
<http://10.99.253.33/kcms/detail/detail.aspx?QueryID=1&CurRec=1&DbCode=CJFD&dbname=CJFDLAST2013&filename=SCSF201302010&uid=MjVFdz3ZUNrY1BTY1dwS2dRKzg2SDJ2aEU1TG0rdkF3b1gyM08xWXN1UXk5aitD>

呂順長「吳汝綸日本教育視察の筆談記録」、四天王寺大学紀要、査読有り、第57号、2014年、第371 - 387頁。
<http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/toshokan/>

呂順長「教育雑誌にみる日本教育関連の記事」、四天王寺大学紀要、査読有り、第59号、2015年、第439-452頁。
<http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/toshokan/>

呂順長「教育世界的日文訳者及其翻訳特徴」、日語学習与研究、査読有り、2015年、第180号、第40 - 46頁。

[学会発表](計7件)

呂順長「近代日中交流 - 『佳人奇遇』の梁啓超訳をめぐる」、シンポジウム「文化の衝突と融合 - 東アジアの視点から」、東京・早稲田大学、2013年2月2日。

呂順長「吳汝綸日本視学筆談記録」、シンポジウム「東アジアにおける筆談の研究」、中国杭州・浙江工商大学東亜研究院、

2013年9月15日。

呂順長「画像に見る近代日中の教育文化交流」、大阪民衆史研究会、大阪府教育会館、2013年11月30日。

許海華「浙江教育官報からみた近代日本教育の影響」、本科研の研究発表会、四天王寺大学サテライトキャンパス、2015年8月7-8日。

王宝平「教育雑誌の研究を行う際のデータベースの利用について」、本科研の研究発表会、四天王寺大学サテライトキャンパス、2015年8月7-8日。

楊曉「民国時代の教育雑誌からみた日本関連の漫画」、本科研の研究発表会、四天王寺大学サテライトキャンパス、2015年8月7-8日。

張廷銀「中国国家図書館所蔵の教育雑誌について」、本科研の研究発表会、四天王寺大学サテライトキャンパス、2015年8月7-8日。

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

呂順長 (LU SHUNCHANG)

四天王寺大学人文社会学部 教授

研究者番号：40388591

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

王宝平 (WANG BAOPING)

中国浙江工商大学 教授

楊曉 (YANG XIAO)

中国遼寧師範大学 教授

張廷銀 (ZHANG TINGYIN)

中国国家図書館 教授

許海華(XU HAIHUA)

中国浙江工商大学 講師